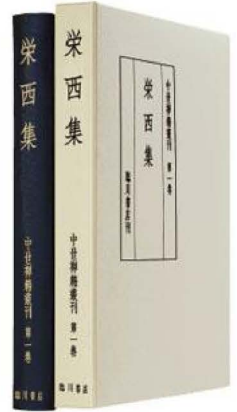


# 中世禅への新視角

## 『中世禅籍叢刊』が開く世界



2018年7月7日(土) 10:00~17:50

名古屋大学東山キャンパス  
 文系総合館7Fカンファレンスホール

10:00~10:10 **趣旨説明**

末木文美士

10:10~11:25 **パネル1: 能忍・栄西とその周辺**

再び「達磨宗」について—『天台一宗超過達磨章』に基づいて—  
 禅宗と機根—『禅家説』の位置づけをめぐって  
 西国における栄西一門の形成について

古瀬 珠水  
 和田有希子  
 米田真理子

11:35~12:50 **パネル2: 聖一派の展開と癡兀大慧**

癡兀大慧の禅密思想—『大日経義釈見聞』を中心として—  
 癡兀大慧の心識観—『菩提心論随文正決』の理解を中心に—  
 癡兀大慧『灌頂秘口決』の仏身論—〈なる〉と〈ある〉をめぐって—

加藤みち子  
 亀山 隆彦  
 菊地 大樹

13:30~15:10 **パネル3: 中国仏教の受容と日本禅**

『教月要文集』について—『禅源諸詮集都序』の受容を中心に—  
 日本禅宗における『宗鏡録』の受容  
 『禅門詩文集』補考  
 鎌倉時代の坐禅観について—『中世禅籍叢刊』を手がかりとして—

高柳さつき  
 柳 幹康  
 高橋 秀栄  
 石井 修道

15:20~17:00 **パネル4: 中世仏教の広がり**

心地覚心の異端性  
 中世仏教と偏執・驕慢—『天狗草紙』流布の背景—  
 真福寺と尾張・三河の寺院—大須文庫蔵『阿婆縛抄』『反音抄』を中心に—  
 真福寺と覚城院—特に信源をめぐって—

常磐井慈裕  
 原田 正俊  
 三好 俊徳  
 伊藤 聡

17:00~17:15 **総括コメント**

阿部 泰郎

17:15~17:50 **総合討論**

主催:名古屋大学大学院人文学研究科  
 附属人類文化遺産テキスト学研究センター

問い合わせ先:名古屋大学人類文化遺産テキスト学研究センター

TEL:052-789-5993

E-mail:nagoya.cht.archives@gmail.com

入場無料  
 申込不要